

基本目標3 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進

働きたい女性が、仕事と子育て等の両立ができる、あるいは、出産しても働き続けられるよう、そして、男性が家事や育児、趣味、地域活動に参画できるよう、多様な働き方・生き方が選択できる社会づくりを進めます。そのために、市内事業所や市民に対して、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の意義や働き方の見直しについて働きかけると同時に、子育てや介護などの支援を推進します。

施策の基本的方向・具体的施策・施策内容

5 M字カーブ問題の解消等に向けた仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現支援

(9) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)実現のための広報・啓発の推進

20	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての啓発を充実します
----	-------------------------------------

(10) 仕事と育児・介護の両立に関する法律・制度の周知

21	市内事業所等に対し、育児・介護休業制度の定着や労働時間の短縮、フレックスタイム制等、柔軟な働き方の普及についての啓発や情報提供を推進します
----	---

22	育児・介護休業法について、広報誌、啓発冊子等による啓発を実施します
----	-----------------------------------

23	男性の市職員・教職員の育児・介護休業制度の利用を促進します
----	-------------------------------

24	市内事業所に対して、女性活躍推進法や次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」策定に向けての情報提供、策定の働きかけに努めます
----	---

6 多様なライフスタイルに対応した子育てや介護の支援

(11) 男女共同参画に基づく仕事と育児・介護の両立

25	保育所等の待機児童の解消に努めます
----	-------------------

26	妊娠期から学童期までの子育て支援の充実を努めます
----	--------------------------

27	仕事と介護が両立できるよう相談、情報提供等の充実を図ります
----	-------------------------------

28	介護家族等の相談等支援事業の充実を図ります
----	-----------------------

(12) 家庭生活や地域活動への男性の参画の促進

29	固定的な役割分担意識にしばられない自由なライフデザインを考えることができる機会を提供します
----	---

30	男性が女性とともに家庭での役割を果たせるよう、技能向上をめざすための学習機会を提供します
----	--

31	男性が地域活動に参加・参画できるよう、意識啓発、活躍できる場や情報の提供を行います
----	---

施策の基本的方向5 M字カーブ問題の解消等に向けた仕事と生活の調和
(ワーク・ライフ・バランス)の実現支援

(具体的施策 9)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のための広報・啓発の推進

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R6~R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
20	仕事と生活の調和(ワーク・ ライフ・バランス)について の啓発を充実します	主査級以下の職員に対してキャリア デザイン研修を実施し、管理職への 登用を促進した。 【再掲 施策番号10】	研修の実施により、男女共同参画意 識の醸成を図ることができた。継続 して実施する。	継続	継続	男女共同参画意識のさら なる醸成に、継続して取 り組む必要があるため。	人事課
		市職員を対象に、男女共生研修を実 施した。 【再掲 施策番号12】	研修の実施により、男女共同参画意 識の醸成を図ることができた。継続 して実施する。	継続	継続	男女共同参画意識のさら なる醸成に、継続して取 り組む必要があるため。	人事課
		男性の家事参画・仕事以外の活動参 画を推進するための各種講座を開催 した。 〔内 容〕 初心者男の料理教室 〔実施日〕 ①令和3年6月26日 ②令和3年10月30日 ③令和4年2月27日 〔参加人数〕 ①7人 ②4人 ③8 人 〔内 容〕 男のヨガ教室 〔実施日〕 ①令和3年4月24日 ②令和3年8月28日 ③令和3年12月25日 〔参加人数〕 ①10人 ②7人 ③6 人 〔内 容〕 おとう飯はじめよう！講 座 父(祖父)と子(孫)の料理教室 〔実施日〕 令和3年7月18日 令和3年9月25日 令和3年11月21日 令和4年1月29日 令和4年3月27日 〔参加人数〕 86人	新型コロナウイルス感染拡大防止の ため、開催回数及び募集定員を減ら しての開催となったが、市民の方の ニーズと内容がマッチしている人気 の講座である。男性の家事・育児参 画、仕事以外の活動参画の一助とな る講座であるので、引き続き実施す る。	継続	継続		人権・男 女共生課
		仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・ バランス)の視点を踏まえ、次世代育 成支援行動計画(第4期)に位置付け た取組を推進した。	コロナ禍であったが、オンラインの 方法等により企業や市民を対象とし た講座や講演会を開催し、意識啓発 を行うなど、次世代育成支援行動計 画(第4期)の取組を推進することが できた。今後も、引き続き第4期計画 の取組を推進していく。	継続	継続		こども政 策課
		広報誌・ホームページ等を活用する とともに、関係課と連携し、ワー ク・ライフ・バランスについての啓 発活動を実施した。 【再掲 施策番号14】 働きやすい職場づくり推進事業所認 定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】	働きやすい職場づくりセミナーは、 会場及びZoomの併用開催とした。 啓発活動やインセンティブの拡充等 により、働きやすい職場づくり推進 事業所について、新たに9事業所を認 定し、認定事業所は延べ25事業所と なった。 広報誌・ホームページ等を活用する とともに、関係課と連携し、ワー ク・ライフ・バランスについての啓 発活動を実施する。	継続	継続		商工労政 課

(具体的施策 10)仕事と育児・介護の両立に関する法律・制度の周知

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R5～R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
21	市内事業所等に対し、育児・介護休業制度の定着や労働時間の短縮、フレックスタイム制等、柔軟な働き方の普及についての啓発や情報提供を推進します	広報誌・ホームページ等を活用し、柔軟な働き方に関する情報提供を実施した。 【再掲 施策番号13】 働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】	働きやすい職場づくり推進事業所認定制度の啓発活動やインセンティブの拡充等により、働きやすい職場づくり推進事業所について、新たに9事業所を認定し、認定事業所は延べ25事業所となった。 広報誌・ホームページ等を活用するとともにセミナーを開催し、柔軟な働き方に関する情報提供を実施する。	継続	継続		商工労政課
22	育児・介護休業法について、広報誌、啓発冊子等による啓発を実施します	男女共同参画に関する冊子等を発行し、啓発を行った。 【再掲 施策番号13】	人権・男女共同参画啓発冊子及びカレンダーについては、児童・生徒に見てもらえるようなテーマ、デザインとし、各教室にも掲示を依頼し、通年を通して、身の回りの人権課題に気づききっかけとなる情報を提供することができた。 WAM通信については、より充実した情報提供を行うため、専門家等に原稿の執筆を依頼する。また、より多くの人に周知できるように、市公式総合アプリやSNSを活用するなど、情報発信を工夫する。	拡充	継続		人権・男女共生課
		広報誌・ホームページ等を活用し、育児・介護休業法に関する啓発を実施した。 働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】	働きやすい職場づくり推進事業所認定制度の啓発活動やインセンティブの拡充等により、働きやすい職場づくり推進事業所について、新たに9事業所を認定し、認定事業所は延べ25事業所となった。 広報誌・ホームページ等を活用するとともに、関係課と連携し、啓発を実施する。	継続	継続		商工労政課
23	男性の市職員・教職員の育児・介護休業制度の利用を促進します	市長が平成28年5月に育ボス宣言を行っており、取得促進に向けた環境整備を進めている。また、各種休暇制度等の周知・啓発を継続して行った。今後も引き続き職場環境の整備や周知に取組む必要がある。	令和3年度の男性職員の育児休業取得率は22.2%であった。引き続き取り組みを継続し、更なる取得率向上を目指す。	継続	継続	男性職員の育児休暇取得率の目標値(10%)を継続して達成するために、今後も利用促進を図る必要があるため。	人事課
		国・府などからの通知等について、引き続き男性教職員を中心に周知徹底に努めるとともに、管理職を通じて呼びかけをした。	一定推進が図れているが、今後も各種休業制度に関する国・府からの通知について、管理職を通じて周知していく。	継続	継続	一定推進が図れているが、30代の教職員数が多く、女性の育児休業取得者数が飛躍的に伸びる中で、男性の育児休業取得者はそれほど伸びていない。	教職員課
24	市内事業所に対して、女性活躍推進法や次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」策定に向けての情報提供、策定の働きかけに努めます	広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、「一般事業主行動計画」策定の情報提供を実施した。 働きやすい職場づくり推進事業所認定制度を実施した。 【再掲 施策番号3】	市が認定する働きやすい職場づくり推進事業所について、新たに9事業所を認定し、認定事業所は延べ25事業所となった。 広報誌・ホームページ等を活用し、市内事業所に対して、「一般事業主行動計画」策定の情報提供を実施する。	継続	継続		商工労政課

施策の基本的方向6 多様なライフスタイルに対応した子育てや介護の支援

(具体的施策 11)男女共同参画に基づく仕事と育児・介護の両立

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度 の方向性	第3次計画 (R6～R9) における方 向性	⇒左記を選択した理由や今 後5年間の方針、目標等	担当課
25	保育所等の待機児童の解消に努めます	<p>私立保育所等の建設補助事業や企業主導型保育事業の誘導により、待機児童ゼロを達成した。</p>	<p>令和3年度は令和2年度に引き続き認定こども園の新設等により待機児童ゼロを達成した。今後も引き続き、私立保育所等の建設補助事業や幼稚園の認定こども園化により、待機児童ゼロの継続を目指す。</p>	継続	継続	今後も引き続き、私立保育所等の建設補助事業等により、さらなる待機児童の解消を図る。	保育幼稚園総務課
26	妊娠期から学童期までの子育て支援の充実に努めます	<p>子育て世代包括支援事業（利用者支援事業（母子保健型））において、専任助産師、専任保健師の2人体制による妊娠届出時の面接や、子育てプランシートの作成等の支援を実施した。また、今年度から多胎家庭への支援として、妊娠届出時からのフォローを開始した。</p> <p>〔実施事業名〕子育て世代包括支援事業 〔妊娠届出時及び妊婦健康診査受診券交付届時面接〕 2,540人 〔専任職員による妊婦面談実績〕 1,725人 (67.9%) 〔多胎妊娠届出件数〕 29人 （うち専任職員フォロー27人、地区担当保健師フォロー2人） 〔多胎妊産婦交流会〕 実施回数：3回 参加者：延べ11人</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、来所での妊娠届出が難しい妊婦に対し、令和3年6月から郵送での妊娠届出を可能とするよう体制を整備した。郵送での届出件数は0件である。</p>	<p>今年度から、育児負担が大きく、孤立しやすいなど様々な課題を抱える多胎家庭への支援として、妊娠届出時からのフォローを開始した。利用者支援事業の母子保健型と基本型で連携し、多胎妊産婦が安心して妊娠期を過ごし、育児をおこなえるよう、ニーズに応じてサービス調整や訪問を実施した。オンライン交流会については実施初年度であり、今年度の実施結果をふまえ、内容を検討していきたい。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>児童手当、こども医療費助成を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕児童手当 〔支給対象〕中学校修了前までの児童を養育している人 〔支給資格者数〕 23,216人</p> <p>〔実施事業名〕こども医療費助成 〔助成対象〕健康保険加入の0歳から18歳到達年度末までの児童 〔助成対象者数〕 41,348人</p>	<p>こども医療費助成について、令和3年10月1日から対象年齢を18歳年度末まで拡充し、子育て世帯の経済的支援の充実に努めることができた。</p>	継続	継続		こども政策課
		<p>各種子育て短期支援事業を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕①ショートステイ ②トワイライトステイ</p> <p>〔利用人数〕 ①延べ8人 ②延べ0人 〔利用日数〕 ①延べ34日 ②延べ0日</p>	<p>ショートステイは、きょうだい児の入院や母子の緊急保護、育児疲れに対応でき、就学保障での送迎も行うことができた。 トワイライトは、利用希望や相談が無かった。 どちらも新型コロナウイルス感染症の影響により、利用希望者は例年に比べ少数に留まった。また、一部の委託先児童養護施設では受入れ制限を継続している状況であり、利用につながらないケースもあった。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>一時保育事業を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕一時保育「スマイル」 〔登録者数〕 421人 〔利用者数〕 1,175人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策として、定員や時間を見直し上での利用となり、人数等は減少しているものの、ニーズは一定数あり、コロナ禍でも必要な施策であり、安全性を確保したうえでの運営継続を検討する必要がある。</p>	継続	継続		子育て支援課

26	妊娠前から学童期までの子育て支援の充実に努めます	<p>就学前の児童と親が気軽に語り合える「つどいの広場」を運営した。 〔実施事業名〕地域子育て支援拠点事業（ひろば型） 〔実施か所数〕20か所 〔年間利用者数〕43,975人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により「つどいの広場」の休所、感染予防対策として定員や内容の見直しを行った。また状況に応じて対面とオンラインの使い分けを徹底した。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>地域子育て支援センターにおいて、子育て情報の提供、子育て講座、親子教室、子育て相談等を実施した。 〔実施事業名〕地域子育て支援拠点事業（センター型） 〔実施か所数〕5か所 〔年間利用者数〕6,615人 〔相談件数〕526件</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて休所、感染予防対策を取り入れながら定員や内容の見直しを行った。利用者のニーズに合ったイベントや講座を心がけ、人数制限をしながら対面でのイベントも実施し、オンラインでのイベントの充実も図ってきたい。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>地域における子育てサークル・グループを支援した。 〔実施事業名〕①おもちゃの貸出 ②サポーター派遣 〔実績件数〕①61件②19件</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てサロンが中止となり、子育てサポーターの活動範囲が狭くなった。 おもちゃの貸出は、昨年度に引き続き、1組でも利用可とし、おもちゃのセット内容を見直した。コロナ禍で遊びが発展しにくい状況に少し貢献できた。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 利用料負担の軽減のためにひとり親家庭への補助や、コロナ感染症拡大防止による学校等休校時に利用できる利用料の補助を行なった。 〔会員数〕1,573人（依頼会員1,129人 援助会員248人 両方会員196人） 〔活動件数〕3,096件 〔新規依頼件数〕102件</p>	<p>障害を持つ児や疾患を持つ保護者、育児不安の強い保護者等、多様な会員の支援が必要になってきている。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>保育所（園）・幼稚園・認定こども園において、子育て相談や心理判定員による発達相談を実施した。また、園庭開放事業等を実施し、子育て支援に努めた。</p>	<p>保育所（園）・幼稚園・認定こども園において、子育て相談や心理判定員による発達相談を実施した。引き続き園庭開放事業等を実施し、子育て支援につなげることに努める。</p>	継続	継続	引き続き園庭開放事業等を実施し、子育て支援につなげることに努める。	保育幼稚園総務課
		<p>市内30小学校で学童保育室を運営し、児童の受け入れを行った。清溪・忍頂寺小学校から山手台学童保育室まで児童をタクシーで送迎し、受け入れを行った。（※令和3年度4月1日時点 2,521人）また、夏休みをみの学童保育を全学童保育室で試行実施した。</p>	<p>令和3年度は前年度と比較し、受け入れ人数が減少し、待機児童は出なかったが、小学校における場所の確保が困難な学童保育室があることから夏休みのみの学童保育を実施しながら、利用者の変動を見極める必要がある。</p>	継続	拡充	現在、学童保育室は小学3年生までの利用を基本としているが、令和4年度に夏季休業期間の小学4年生までの預かりを試行実施し、放課後児童健全育成事業の効率的、効果的な運営及び学年拡大についての可能性を検証する。	学童保育課
27	仕事と介護が両立できるよう相談、情報提供等の充実を図ります	<p>介護保険サービスを周知するため市民や介護事業所等に冊子を配布し、市民への介護保険制度への理解の促進に寄与した。 〔発行部数〕 介護保険サービスについて 10,000部</p>	<p>今後も広報誌・ホームページ等を活用し、市民や市内事業所に対して、より一層の啓発活動に努める。</p>	継続	継続		長寿介護課
28	介護家族等の相談等支援事業の充実を図ります	<p>各種高齢者福祉サービス事業を実施した。 〔実施事業名〕 ・紙おむつ等支給サービス ・ごいっしょサービス</p>	<p>標記の事業について適正に執行した。今後も広報誌・ホームページ等を活用し、高齢者福祉サービス事業に関する情報提供を実施する。</p>	継続	継続		長寿介護課
		<p>市内の介護保険施設、グループホーム等に介護相談員を派遣し、利用者の不安や疑問に応えた。 〔派遣回数〕40回 〔派遣先〕33施設</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、介護相談員の施設訪問回数は減少した。 新型コロナウイルス感染症の予防に取り組み、できる限り施設利用者の不安や疑問に対応する。</p>	継続	継続		長寿介護課

(具体的施策 12)家庭生活や地域活動への男性の参加の促進

	施策内容	令和3年度の実施内容	取組に対する評価と今後の課題等	令和4年度の方向性	第3次計画(R5~R9)における方向性	⇒左記を選択した理由や今後5年間の方針、目標等	担当課
29	固定的な役割分担意識にしばられない自由なライフデザインを考えることができる機会を提供します	<p>知って得する子育て講座の中でパパ向けメニューを開催した。 〔実施回数〕2回 〔参加者〕8人</p>	<p>定員削減の中での実施であったが、参加された人は満足されていた。今後、コロナ禍の状況で、どのような開催方法がよいのかニーズを把握し、検討する必要がある。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>固定的な役割分担意識にしばられない自由なライフデザインを考えることができる職場体験学習や野外体験活動を実施した。</p>	<p>固定的な役割分担意識にしばられない自由なライフデザインを考えることができたので今後も継続していきたい。</p>	継続	継続		学校教育推進課
30	男性が女性とともに家庭での役割を果たせるよう、技能向上をめざすための学習機会を提供します	<p>料理未経験者や経験者のレベルに合わせた講座を開講し、男性の料理技能向上の機会を提供した。</p>	<p>講座の開講により、男性の料理技能向上に寄与することができた。引き続き、生涯学習の取組を通じて、より多くの機会を提供できるように努める。</p>	継続	継続		文化振興課
		<p>男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。</p>	継続	継続		人権・男女共生課
		<p>出前講座を通して介護保険サービスに関する情報を提供した。 〔実施回数〕5回 〔参加者〕124人</p>	<p>令和3年度は出前講座を5回実施し、参加者124人に対して介護保険サービスに関する情報提供をした。引き続き出前講座を通して介護保険サービスの啓発に努める。</p>	継続	継続		長寿介護課
		<p>①妊娠中から出産・育児について、知識・技術を学ぶ両親教室（パパ&ママクラス）をオンラインで実施した。 〔実施事業名〕パパ&ママクラス 〔実施回数〕6回 〔参加者〕305人</p> <p>②母子健康手帳交付時に、男性の育児参加を促すリーフレットを配布した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によりオンラインで実施した。多くの医療機関で両親教室がなくなった影響もあり、市民からの人気は高く、休日開催の回は定員を超える申し込みがあった。参加者からのアンケートより、休日開催を求める声が多かったため、R4年度は毎月開催とし、休日開催の回も増やす予定である。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>つどいの広場等において、父親も参加できる学習機会を設ける活動を実施した。 〔男性参加イベント数〕129回 〔男性参加者数〕259人</p>	<p>父親も参加しやすい土曜日などにイベントの企画をしたことで男性の子育て参加の促進をすることができた。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>市内の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」をLINE電話を用いてリモート実施した。(2件)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生等と直接ふれあうことはできず画面越しではあったが、親子の様子をリアルタイムで観察したり、高校生から利用者へ直接質問することができた。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>知って得する子育て講座の中でパパ向けメニューを開催した。 【再掲 施策番号29】</p>	<p>定員削減の中での実施であったが、参加された人は満足されていた。今後、コロナ禍の状況で、どのような開催方法がよいのかニーズを把握し、検討する必要がある。</p>	継続	継続		子育て支援課

		<p>家庭教育支援の一環として、子を持つ保護者同士が気軽に話し合える場を設定し、それぞれの家庭のこどもとの関わり方や考え方等を知ること、子育てに関する悩みや孤立感を解消し、保護者としての資質向上を図ることを目的として「よりみちルーム」を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕よりみちルーム 〔実施方法〕オンラインアプリ「Zoom」を利用 〔実施日〕①令和3年7月6日②9月30日 〔対象〕子育て中の保護者及びテーマに関心のある市民 〔参加者〕①4人、②4人 〔テーマ・進行〕団体「親まなび☆きらりん広場」「アンファン広場」からテーマの提案を受け設定、各団体からのファシリテーター派遣により話し合いの場を作る。</p>	<p>コロナ禍により人と人との接触制限がされる中、家庭の孤立化、子育て不安の増大を解消するため、関係団体と連携し、「Withコロナの子育て」等をテーマに家にいながら気軽に参加しやすいオンラインで実施する保護者の語り場としてよりみちルームを試行した。しかし、広報掲載等で周知を図ったにもかかわらず参加者が少なく2回しか実施できなかった。今後も、ICT活用や関係団体との連携等により、新しい生活様式を踏まえた適切な学習機会の提供に努める。</p>	継続	継続		社会教育 振興課
30	男性が女性とともに家庭での役割を果たせるよう、技能向上をめざすための学習機会を提供します	<p>児童の保護者が家庭教育の重要性を認識し、子どもの育成に必要な知識と技術について学習するための「家庭教育学級」を委託により開設した。</p> <p>〔実施事業名〕家庭教育学級 〔実施日〕令和3年5月1日～令和4年2月28日 〔対象〕茨木市内の小学校に子どもが通う保護者 〔参加者〕延べ1055人 〔テーマ〕〔講師〕〔場所〕各学級において、設定し実施</p>	<p>保護者がつながり、ともに学ぶ場として、親学習、人権の尊重、子どもの心とからだの健康等をテーマとした学習会や交流会を、各学級が自主的に企画し実施した。新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、オンライン活用等、新しい手法を導入することで開設学級数や参加者数を若干増やすことができた。引き続きコロナ禍での新しい生活様式を踏まえるとともに、核家族化、共働き世帯の増加等の社会情勢の変化に応じた活動となるよう支援する必要がある。</p>	継続	継続		社会教育 振興課
		<p>市又は市民で構成された団体からの要請に基づき、対話や交流を通じて保護者のあり方を学習する機会を提供する「親まなび講座」を実施した。</p> <p>〔実施事業名〕親まなび講座 〔実施日〕令和3年6月～2月 合計13回実施 〔対象〕家庭教育学級生ほか子を持つ保護者 〔参加者〕延べ128人 〔テーマ〕見守る、かさねる、はなれる、うながす、信じる、かかわる、自信をもつ 〔講師〕親まなびサポーター 〔場所〕大池小、太田小、中津小、玉島小、彩都西小、春日小、三島小、水尾小、郡小、沢池小、穂積小、追手門大学、大阪よどがわ生協</p>	<p>大阪府教育委員会作成の親学習教材を用いて、親まなびサポーターの進行のもと、保護者同士が対話することで、子育てについて考える機会となっている。新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、オンライン活用等、新しい手法を導入することで実施回数や参加者数を増やすことができた。引き続き、オンライン実施の検討を進めるとともに、出前講座としての周知をすることで参加者層拡大に努める。</p>	継続	継続		社会教育 振興課
		<p>家庭科の学習において、裁縫実習や調理実習等の技能向上をめざすための学習を発達段階に応じて実施した。</p>	<p>家庭科の実習において、発達段階に応じた裁縫実習や調理実習等の技能向上を目指す実習ができた。</p>	継続	継続		学校教育 推進課
31	男性が地域活動に参加・参画できるよう、意識啓発、活躍できる場や情報の提供を行います	<p>市民活動センターのホームページや広報誌（きずな）において、センターの事業内容や市内で活動する団体等のイベント情報を紹介したほか、平日夜間に市民活動団体向けのオンライン交流会を開催する等、地域活動・市民活動への参加・参画に向けた場や情報の提供に努めた。特に広報誌はデザインをリニューアルする等、多くの方に興味を持ってもらうための紙面づくりを行った。</p>	<p>市民活動センターでは、より多くの人に市民活動に参画してもらうための工夫をして取り組みを行っているが、夜間の開館が週に2回である等、平日に仕事をしている男性が参画しづらい体制となっている点が課題である。</p>	拡充	拡充	<p>令和5年度より供用予定の「おにクル」移転後の市民活動センターは毎日夜間まで開館予定。また、市民活動センターのホームページや広報誌、SNSでの事業の広報を強化するほか、平日夜間に開催する交流会等を充実させることで、多様な主体が市民活動に参画できるような場や情報の提供に努める。</p>	市民協働 推進課

31	男性が地域活動に参加・参画できるよう、意識啓発、活躍できる場や情報の提供を行います	<p>男性の家事参画・仕事以外の活動参画を推進するための各種講座を開催した。 【再掲 施策番号20】</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催回数及び募集定員を減らしての開催となったが、市民の方のニーズと内容がマッチしている人気の講座である。男性の家事・育児参画、仕事以外の活動参画の一助となる講座であるので、引き続き実施する。</p>	継続	継続		人権・男女共生課
		<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となったが、地域活動や市民活動に意欲がある高齢者の社会参加機会やボランティア活動等の出会いの場を、茨木シニアカレッジ事業・老人クラブを通じて支援した。</p>	<p>茨木シニアカレッジ事業については修了生も増加し、地域活動の担い手が増えてきているが、老人クラブについては、高齢化による担い手不足が課題となっている。</p>	継続	継続	引き続き高齢者（男性）の居場所と出番を創出するため、意識啓発及び情報提供に努める。	地域福祉課
		<p>①妊娠中から出産・育児について、知識・技術を学ぶ両親教室（パパ&ママクラス）をオンラインで実施した。 ②母子健康手帳交付時に、男性の育児参加を促すリーフレットを配布した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>参加者の75%がパートナーと同伴している。男性への育児参加の意識啓発や導入を行うことができたと考えている。今後も新型コロナウイルス感染症の流行状況によって意識啓発の機会が失われないよう、オンラインを活用した情報発信を継続していきたい。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>出前講座を通して介護保険サービスに関する情報を提供した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>令和3年度は出前講座を5回実施し、参加者124人に対して介護保険サービスに関する情報提供をした。引き続き出前講座を通して介護保険サービスの啓発に努める。</p>	継続	継続		長寿介護課
		<p>つどいの広場等において、父親も参加できる学習機会を設ける活動を実施した。 【再掲 施策番号30】</p> <p>市内の公立高校で、子育て中の親子と関わる機会をもつ「ふれあいまなび事業」をLINE電話を用いてリモート実施した。 【再掲 施策番号30】</p>	<p>父親も参加しやすい土曜日などにイベントの企画をしたことで男性の子育て参加の促進をすることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、高校生等と直接ふれあうことはできず画面越しではあったが、親子の様子をリアルタイムで観察したり、高校生から利用者に直接質問することができた。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>知って得する子育て講座の中でパパ向けメニューを開催した。 【再掲 施策番号29】</p>	<p>定員削減の中での実施であったが、参加された人は満足されていた。今後、コロナ禍の状況で、どのような開催方法がよいのかニーズを把握し、検討する必要がある。</p>	継続	継続		子育て支援課
		<p>各公民館、コミュニティセンター及び生涯学習センターきらめきの活動団体を紹介する「グループガイド」を作成し、各公施設に配布するとともに、新たにホームページにも掲載した。 〔発行部数〕 2,000部</p>	<p>今後も市民の皆様にご参加いただけるよう、「グループガイド」を作成し、各施設やホームページで情報の提供を図っていく。</p>	継続	継続		社会教育振興課
		<p>放課後子ども教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により10月末まで、活動を中止した。11月から約2か月半の期間、地域の実情に応じ、感染対策を講じて活動を再開した。 〔校区数〕：18校 〔実施日数〕：延べ200日 〔参加児童〕：27,785人</p>	<p>子どもの安心・安全な居場所となるよう、研究会等を開催しコロナ禍の状況を踏まえ、本市独自のガイドラインを改訂した。今後も、研究会等を通して、コロナ禍における教室運営の課題等について情報共有を図っていく。</p>	継続	継続		社会教育振興課
<p>青少年健全育成キャラクター「ほっとけん！」を活用した健全育成の啓発を実施した。 青少年健全育成運動重点目標啓発リーフレットの発行 〔発行枚数〕 42,000枚</p>	<p>地域の青少年健全育成団体と協力し、重点目標についてより一層の周知を図る。</p>	継続	継続	引き続き、意識啓発の機会を提供していく。	社会教育振興課		